



「半田・横須賀」部活動定期戦



「知多の早慶戦」

愛知県立半田高等学校長

田中信幸

「質実剛健・親切奉仕・勤勉努力」の校訓のもと、あらゆる教育活動において輝かしい実績と伝統を積み重ねてこられた横須賀高等学校が平成25年、創立90周年を迎えられますことを心からお喜び申し上げます。

横須賀高等学校と半田高等学校は長きにわたり、ともに知多の俊秀が集う学校として、さまざまな分野で良き仲間であり、そして良きライバルであります。その両校が、横須賀高校創立90周年行事の一環として運動部対抗戦を行い、多くの部で定期戦として来年度以降も未永く実施したいとの提案をいただきました。いわば「知多の早慶戦」であり、すばらしい企画です。早慶両大学では、ほとんどの運動種目において年に1回から2回の定期戦を行っていますが、そこで勝利をおさめることは、どの部においても全国制覇と並ぶ重要な目標です。競技ばかりでなく応援も白熱し、特に野球における華やかな応援合戦はよく知られているところです。

ところで、私は横須賀高校に20年間勤務しました。剣道部の顧問でしたが、卓越した実力を有する多くの部員に恵まれ、全国高校総合体育大会（インターハイ）には女子団体・個人及び男子個人の監督として何回か出場の機会を得ました。剣道部員と共有した濃密な時間は、私のかげがえのない財産です。

さて、毎年春の総合体育大会知多予選では、各種目の上位入賞校に得点を与え、学校ごとの総得点を競いますが、今年度までの34回のうち、横須賀、半田のいずれかによる総合優勝は男子が26回、女子が13回に上ります。今回の定期戦発足が両校にさらなる活力を与え、あらゆる場面で一層輝きを増すことを願います。



「母校を強く愛する気持ち」

愛知県立横須賀高等学校長

森田耕治

この度、創立90周年事業の一環として、「半田・横須賀」部活動定期戦を提案させて頂いたところ、半田高校校長・部活動顧問の先生方には、ご多忙にもかかわらず、快くお引き受けいただき感謝に堪えません。

横須賀高校は、半田高校とは歴史が異なりますが、共に知多の伝統校として「文武両道」をめざし、長きにわたり互いの校風を尊重しつつ切磋琢磨しながら、全国・全県で活躍する数多くの卒業生を輩出してきました。

現在、本校では、90周年記念企画として、同窓会役員・有志が中心となり、ホームカミングデー「母校に帰る日」、パネル講演会・分科会、職業別専門部会、部活動統一OB・OG会など、盛りだくさんの事業が始まりました。この「半田・横須賀」部活動定期戦もその企画の一環です。常に母校を想って惜しみない支援をいただける同窓生、本校教育活動を暖かく見守っていただける保護者の皆様には、心より感謝いたします。

私は、大学の運動部時代、東京六大学リーグ戦や早慶戦ほどの知名度や華やかさはありませんが、国立七帝大戦や名京戦で育ちました。生涯忘れ得ない数々の思い出、先輩や後輩との強い絆が今もあります。その経験が、自分の人格や在り方の中核となっていると言っても過言ではありません。

半田・横須賀、両校の生徒諸君は、知多の中学校で共に学び、共に汗を流した仲間同士です。諸君が、今回の対抗戦を一つの契機として、学問や運動への強い情熱、学校への深い帰属意識、良きライバル意識を育み、将来にわたって「母校を強く愛する気持ち」をもって、全国に雄飛し活躍することを願っています。